



こんにちは 日本共産党府議会議員

さこ祐仁 議会報告

2009年7月12日発行 77

連絡場所
日本共産党北地区委員会 432-3261
上京生活相談所 813-2117



西陣振興・後継者育成に知事が先頭に！ 特定鳥獣被害

関係者の悲鳴の声にこたえよ！

日本共産党のさこ祐仁議員は、7月2日の府議会本会議一般質問で、「西陣織への支援、鳥獣被害対策強化」を山田啓二知事に迫りました。わたしは、京都が世界に誇る「日本文化の宝」、西陣織をはじめとする京都の伝統産業は京都の雇用と経済に大きな役割を果たしてきたが、厳しい状況にあり、西陣の復興に府が、「京都府伝統と文化のものづくり産業振興条例」に基づき、府の責

任を果たすべきと強調。とくに、後継者問題が深刻になっていく中で、府の後継者育成事業が西陣織全体でわずか100万円と毎年ほぼ変わっていないことを示し、研修者だけでなく、教える事業者も含めて支援する「後継者支援制度」をつくり、後継者育成に本格的に取り組むことを求めました。

また、わたしは、シカやイノシシ

などによる農作物被害について、関係者から聞き取った、「電気柵を簡単に突破され、一反の田を一晚で食われた」驚いたのは、山の下の草がすっかり食われ笹までない、山肌がむき出しという状況もある。「コメは安い。何を作ってもやっていけないのに、こんな被害を受けたらやる気になれない」「とにかく数を減らさなければ、私たちが生活できない。それ以外にない」などの悲鳴と深刻な実態を示し、特定鳥獣保護管理計画の捕獲目標を実態に即して見直すこと、電気柵や金網設置費用の補助を増やすこと、鳥獣駆除のための専任捕獲班をつくることを求めました。

学費負担の軽減を・府独自の奨学金制度を！

学費ゼロネットのみなさんが、6月定例府議会に「学費の負担軽減、高等教育予算増額を求める陳情」を提出され、7月1日、府議会各会派に要請行動を行なわれました。

日本共産党府議団は、学費ゼロネットのみなさんの要請を受けた懇談に、11名の全議員が参加しました。

懇談では、学生のみなさんから、「バイトで睡眠時間がとれず、授業中眠くて仕方がない。往復の電車でするしかない」、「自宅通学で片道2時間、定期代は3カ月で7万円」、「高学費で昼・夜週8日間のアルバイトをしている。友人は3つも4つもアルバイトをしている」、「奨学金を受給しているが、卒業して就職できるか？また、400万円以上のお金を返せるか不安」などの実態が出

され、「政府の責任で学費の負担を減らすこと」などの切実な要望が語られました。同趣旨の国会要請で、民主党、日本共産党、社会民主党の議員が請願の紹介議員になってくれたことも紹介されました。議員団から、この6月議会代表質問も含め、学費軽減のための取り組みを紹介し、激励しました。



議会報告会 in 京極小学校

7月4日(土)、お昼の暑い時間帯でしたが、京極小学校で、議会報告会を開催しました。

こくた恵二国会対策委員長・衆議院議員、くらた共子市会議員と一緒に私も訴えさせていただきました。西陣業界では、輸出大企業より、ものづくりを大切にする日本共産党への期待が大きくなっていること、2000年に行われた道路運送法改悪で、車の台数は増えるわ、労働者は長時間労働なのに低賃金になると反対した共産党の議会での論戦とタクシー業界の運動の中、与野党一致して、タクシーの規制強化に方向転換しました。その中心で活躍したのが、こくた恵二衆議院議員でした。タクシー労働者、タクシー会社の会社代表、個人タクシーのみなさんの声を聞いてまわり、4回も国会で答弁にたち論戦し、共同修正案が可決しました。

ルールある経済づくり、自主・自立の平和外交を目指す日本共産党の出番です。きたるべき解散総選挙では、比例代表選挙に日本共産党、小選挙区1区は、こくた恵二へみなさん方のご支援お願いいたします。